

平成 23 年 7 月 29 日

各位

株式会社ルネサンス

平成 22 年度 横浜市地球温暖化対策計画書について

横浜市生活環境の保全に関する条例第 144 条第 3 項の規定により、平成 22 年度横浜市地球温暖化対策計画書を公表いたします。

以上

本件に関する問合せ先  
総務部／03-5600-5329

## 地球温暖化対策計画書

平成22年 11月 26日

（提出先）  
横浜市長

住所 東京都墨田区両国2-10-14  
両国シティコア3階  
氏名 株式会社ルネサンス  
代表取締役社長執行役員 唐木 康正  
（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第1項の規定により、次のとおり提出します。

### 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社ルネサンス 代表取締役社長執行役員 唐木 康正			
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア3階			
主たる事業の業種	大分類	N 生活関連サービス業、娯楽業		
	中分類	80 娯楽業		
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）		
	原油換算エネルギー使用量	2,157 k l	自動車の台数	台

### 2 計画期間

22年度～	24年度
-------	------

### 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

■横浜市内の事業所においては、以下の会社方針の【1】大方針【2】基本方針を踏まえ、【3】計画の1. より取り組む。また、【4】の推進体制で実行していく。

【1】大方針 ㈱ルネサンスは、環境にやさしいクラブ運営を心がけることにより地球温暖化防止に貢献します。

【2】基本方針 全事業所で、エネルギーの合理化を推進することにより省エネルギーを実現します。

【3】計画 1. 既存設備の特性を活かし、エネルギーロスを無くす。 2. 高効率機器への更新。  
3. 熱源システムの見直し。 4. グリーンエネルギーの活用。

【4】推進体制  
<重点対策> 1. エネルギーの合理化による地球温暖化対策の組織体制の確立。 2. エネルギー一元管理体制の構築。  
3. 事業所ごとのエネルギー種別管理の構築。 4. 事業所ごとの管理担当者を設立。

<その他の対策> 5. 定期的にエネルギーの合理化の状況を把握。 6. 各エネルギー合理化策のPDCA管理。

4 推進体制

●2010.10.1付の推進体制は以下の通り

<b>横浜市地球温暖化対策の推進体制</b>	
2010.10.1付	
<b>代表者</b>	
代表取締役社長執行役員	
<b>計画管理責任者</b>	
取締役執行役員	
<b>計画推進責任者(兼)技術管理者</b>	
施設開発部 副部長 省エネルギー化推進チーム	
<b>事業所名</b>	<b>責任者</b>
港南中央	推進責任者(支配人)
天王町	推進責任者(支配人)
港南台	推進責任者(支配人)
Lite! 横浜	推進責任者(支配人)
横浜ランドマーク	推進責任者(支配人)

5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	<a href="http://www.s-rennaissance.co.jp/corp/IR/index.html">http://www.s-rennaissance.co.jp/corp/IR/index.html</a>
窓口で閲覧	閲覧場所	
	所在地	
	閲覧可能時間	
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第37号様式（第2条第48号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (21年度)	基準排出量	3,739	t-CO <sub>2</sub>		基準原単位	2.70	t-CO <sub>2</sub> /	千利用	
	調整後	3,280	t-CO <sub>2</sub>		目標原単位	2.67	t-CO <sub>2</sub> /	千利用	
目標年度 (24年度)	目標排出量	3,706	t-CO <sub>2</sub>	削減率	0.8	%	削減率	1.1	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>【基準年の排出量の特記】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天王町店では、09.12改修工事で2週間休館⇒約29 t-CO<sub>2</sub>が通常より少ない。</li> <li>・Lite!横浜店では、09.12に灯油から都市ガスの温水ヒーターに更新。</li> <li>・基準排出量の前提は5事業所（港南中央、天王町、港南台、Lite!横浜、ランドマーク）</li> </ul> <p>【目標排出量の削減対策】</p> <p>①全5クラブのジム室温管理に外気冷房活用 ②天王町クラブのろ過循環にIN V導入予定</p> <p>【原単位の特記】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標原単位を利用者数当たりとした根拠は、利用者数の増減によってエネルギー使用量が大きく変動する為。また単位面積当たりでは、営業促進と相反してしまうため。</li> </ul>								
その他ガス削減目標、事業者全体としての目標等	改正省エネ法に基づき、事業者として5年間で5%のエネルギーの合理化を目標としております。								

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>		基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
	調整後		t-CO <sub>2</sub>		目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%	削減率		%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
その他ガス削減目標、事業者全体としての目標等									

細則第37号様式（第2条第48号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度	
	事業所等の数 (所)	排出量の合計 (t-CO <sub>2</sub> )
3,000k l 以上	0	0
1,500k l 以上 3,000k l 未満	0	0
500k l 以上 1,500k l 未満	2	2,162
500k l 未満	3	1,577
合計	5	3,739

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度	
	台数 (台)	排出量の合計 (t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車		
小型貨物自動車		
大型バス		
マイクロバス		
乗用自動車		
合計	0	0
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%

細則第37号様式（第2条第48号）  
（総括票）

9 重点対策の実施状況

重点対策		基準年度	計画期間	備考
第1号及び第2号該当事業者	1 推進体制の整備	実施中	計画化	平成22年度に実施
	2 主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	実施中	計画化	5事業所 更新は2015年3月末計画を検討
	3 機器管理台帳の整備	実施中	計画化	5事業所 2012年3月末までに機器管理台帳を整備
	4 照明設備の運用管理	実施中	計画化	5事業所 2012年3月末までに照明機器表を基に実施
	5 エネルギー使用量の把握	未実施	計画化	2事業所 2012年3月末までに代表店の推計提出
	6 各種図面の整備	非該当		蒸気配管・圧縮空気の設備がない
	7 外気導入量の適正管理	実施済		2事業所
	8 フィルター等の清掃	実施中	計画化	2事業所、2012年3月末までに実施記録表を作成
	9 ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	実施中	計画化	2事業所、2012年3月末までに「流量一定」記載
	10 変圧器の需要率管理、効率管理	非該当		変圧器はオーナー資産であるため
	11 室内温度の適正管理	実施中	計画化	5事業所、2012年3月末までに室温管理表作成
	12 地下駐車場の換気管理	非該当		地下駐車場はないため
	13 照明設備の高効率化	実施中	計画化	5事業所、2015年3月末までに効率化計画を検討
	14 事務所機器の待機電力管理	実施中	計画化	2事業所、2012年3月末までに運用開始
	15 機器性能管理	非該当		冷凍機・ボイラーがないため
	16 冷凍機の冷水出口温度管理	非該当		冷凍機がないため
	17 燃焼設備の空気比管理	非該当		該当設備が無いため
	18 排出ガス温度の管理	非該当		該当設備が無いため
	19 蒸気配管のバルブ等の保温	非該当		蒸気配管・圧縮空気の設備がないため
	20 工業炉表面の断熱強化	非該当		工業炉がないため
	21 コンプレッサの吐出圧の適正化	非該当		コンプレッサがないため
	22 コンプレッサの吸気管理	非該当		コンプレッサがないため
第3号該当事業者	23 推進体制の整備			
	24 自動車の適正な使用管理			
	25 エネルギー使用量等に関するデータの管理			
	26 エコドライブ推進体制の整備			
	27 自動車の適正な維持管理			

細則第37号様式（第2条第48号）  
（総括票）

10 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	ガスコージェネレーション	平成18年度	CP10VB 3台	4 t-CO2 削減
2				
3				
4				
5				

11 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	平成21年度	市内の全店舗	459t-co2	東京電力
2				0	
3					
4					
5					

12 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	

13 計画等に対する自己評価

--

## 地球温暖化対策計画書

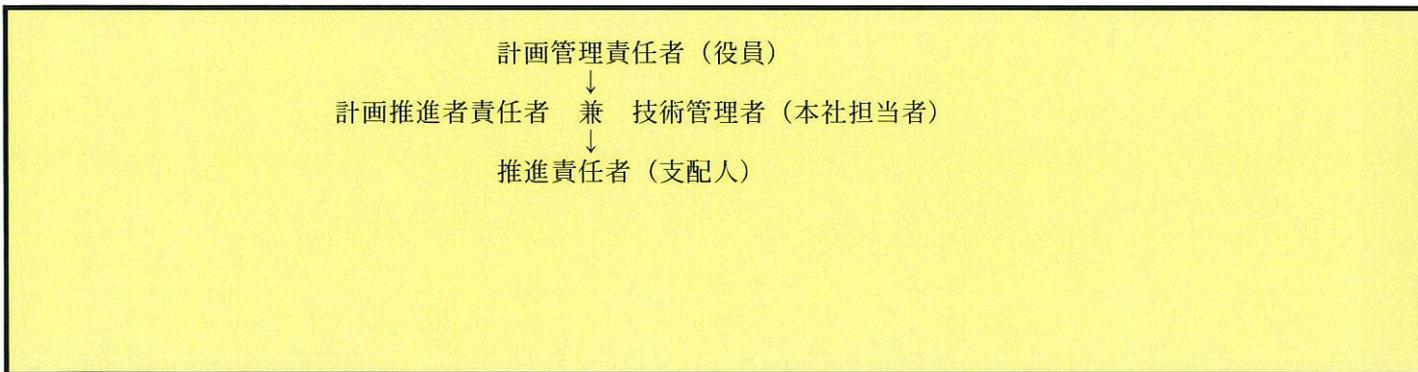
### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	ルネサンス港南中央				
事業所等の所在地	神奈川県横浜市港南区港南中央通12-31 gooday place 3F				
事業所等の建物管理、エネルギー管理に関する状況等	延床面積	4,526	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	629 k l
	事業所等の区分	商業施設		所有形態	賃借（テナント）
	エネルギー原 管理権	一部有り		使用形態	一部使用

### 2 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

①外気冷房の活用による空調負荷の軽減。（重要度：高い）	・上記の選択理由：24時間運転のろ過ポンプ・モーターの節電は、費用対効果とエネルギーの合理化に伴う温室効果ガス削減に影響が大きい為。 ・スケジュール：2011年上期を予定。
②プールろ過循環のインバーターの効率的な活用。（重要度：低い）	

### 3 推進体制



### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

基準年度 （21年度）	基準排出量	1,096 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 （24年度）	目標排出量	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
		削減率		%	削減率
排出の抑制に係る目標の設定の考え方					

## 地球温暖化対策計画書

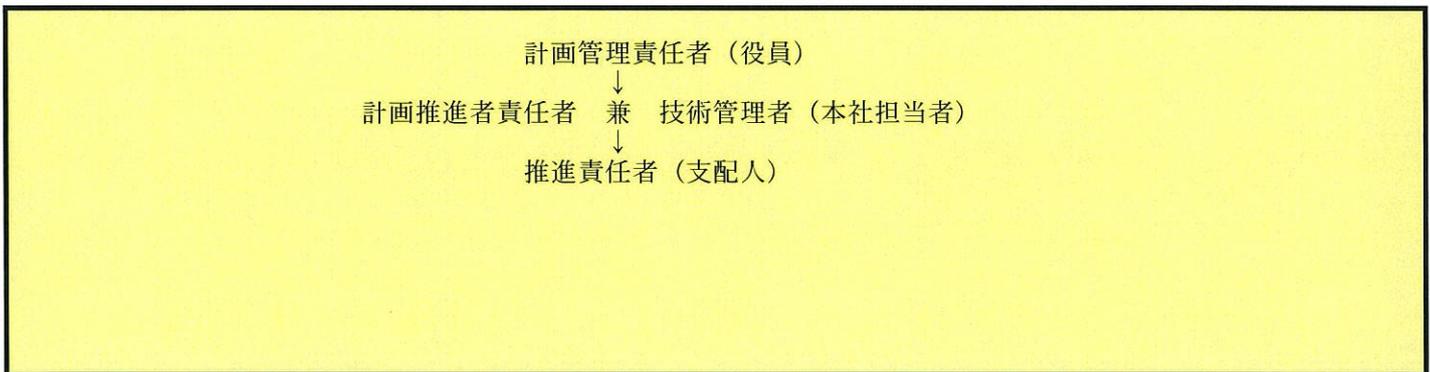
### 1 事業所等の概要

事業所等の名称	ルネサンス天王町				
事業所等の所在地	神奈川県横浜市保土ヶ谷区天王町2-45-12				
事業所等の建物管理、エネルギー管理に関する状況等	延床面積	6,535	m <sup>2</sup>	原油換算エネルギー使用量	619 k l
	事業所等の区分	商業施設		所有形態	賃借（テナント）
	エネルギー原	全て有り		使用形態	全て使用

### 2 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

- ①外気冷房の活用による空調負荷の軽減。（重要度：高い）
- ②エネルギー合理化、温室効果ガス削減につながる設備更新、付帯設備の導入については、経年劣化による空調機の部分更新として09.12に実施済み。  
スパに、ろ過ポンプのインバーターを導入

### 3 推進体制



### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況

基準年度 (21年度)	基準排出量	1,066 t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /
目標年度 (24年度)	目標排出量	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /
		削減率	%	削減率
		%		%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方				